


VMware vCenter Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager 5.8.1 リリース ノート

 |  フィードバック

 共有

 更新日 2017年06月19日

VMware vCenter Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager 5.8.1 | 2016 年 9 月 16 日 | ビルド 2991419 | [ダウンロード](#)

VMware vCenter Orchestrator 5.5.2 | 2014 年 9 月 9 日 | ビルド 1951762 | [リリース ノート](#)

VMware vCenter Orchestrator 5.5.2 Appliance | 2014 年 9 月 9 日 | ビルド 1992027 | [リリース ノート](#)

VMware Site Recovery Manager 5.8.1 | 2015 年 9 月 16 日 | ビルド 2991419 | [リリース ノート](#)

本リリース ノートに対する追加情報およびアップデート情報を適宜確認してください。

リリース ノートの概要

このリリース ノートには、次のトピックが含まれています。

- [VMware vCenter Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager 5.8.1 の概要](#)
- [インストール手順](#)
 - [デフォルト以外の Site Recovery Manager ポートの再構成](#)
- [ワークフロー例](#)
- [既知の問題](#)

VMware vCenter Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager 5.8.1 の概要

VMware vCenter Orchestrator plug-in for Site Recovery Manager を使用すると、Site Recovery Manager の管理者は Orchestrator の堅牢なワークフロー自動化プラットフォームを拡張することで、Site Recovery Manager インフラストラクチャの管理を合理化できます。ワークフローの作成には、Orchestrator クライアントのワークフロー エディタでドラッグ アンド ドロップ機能を使用します。Orchestrator では、このプラグインを使用して、Site Recovery Manager および Site Recovery Manager API の機能にアクセスします。同梱されたビルトインのワークフローを用いることにより、カスタム ワークフローを容易に作成できます。

Orchestrator plug-in for Site Recovery Manager 5.8.1 リリースは、VMware vCenter Orchestrator 5.5.2 で動作します。

注：これ以前またはこれ以降の VMware vCenter Orchestrator のリリースとの相互運用性については、『vCenter Site Recovery Manager 5.8 の互換性マトリックス』を参照してください。

インストール手順

Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager ソフトウェアは、Orchestrator のアプリケーション ファイルとして配布されます。このプラグインをインストールして構成するには、Orchestrator の構成インターフェイスを使用します。

Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager のインストールが完了すると、このプラグインによって、上記両サイトの Site Recovery Manager Server インスタンスが自動的に検出されます。

注：Orchestrator では vCenter Single-Sign On を使用します。Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager を使用するには、vCenter Single Sign-On の認証情報で、vSphere Web Client または Orchestrator クライアントにログインします。

Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager のインストールが完了したら、次の手順に従って、vSphere Web Client で Site Recovery Manager ワークフローを確認できます。

- vSphere Web Client で **[vCenter Orchestrator] > [Workflows（ワークフロー）]** ビューに移動します。
- 階層を展開して、**[vCO Servers（vCO サーバ）] > vco_server > [Library（ライブラリ）] > [SRM]** フォルダに移動します。

Site Recovery Manager ワークフローを実行する前に、**[Library（ライブラリ）] > [SRM] > [構成]** に移動して、**[ログイン]** ワークフローを実行し、リモート サイトにある Site Recovery Manager にログインします。Orchestrator クライアントのセッションごとに、このワークフローを 1 回実行する必要があります。Orchestrator クライアントからログアウトすると、ログイン ワークフローによって、Site Recovery Manager からログアウトされます。

デフォルト以外の Site Recovery Manager ポートの再構成

Orchestrator plug-in for Site Recovery Manager に初めてアクセスしたときに、Orchestrator サーバに **SRM.xml** 構成ファイルが作成されます。デフォルト ポートではない API リスナー ポートを使用するように Site Recovery Manager を構成している場合は、Orchestrator plug-in for Site Recovery Manager を使用する前に、**SRM.xml** 構成ファイルでポート設定を更新する必要があります。デフォルト ポートを使用して Site Recovery Manager をインストールした場合は、**SRM.xml** を更新する必要はありません。

3. エディタで **SRM.xml** 構成ファイルを開きます。
- SRM.xml 構成ファイルは次の場所にあります。
- Windows ホスト：**C:\Program Files\VMware\Orchestrator\app-server\conf\plugins\SRM.xml**

◦ vCenter Orchestrator Appliance：**/etc/vco/app-server/plugin/SRM.xml**
4. Site Recovery Manager Server のインストール時に設定した Site Recovery Manager サーバのローカル インスタンスとリモート インスタンスのリスナー ポートを設定します。
- 次の例では、Site Recovery Manager はポート 9007 および 9017 を使用します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<SrmExtensions>
  <SrmExtension id="srm_id">
    <localPort>9007</localPort>
    <remotePort>9017</remotePort>
  </SrmExtension>
  <SrmExtension id="srm_id">
    <localPort>9007</localPort>
    <remotePort>9017</remotePort>
  </SrmExtension>
</SrmExtensions>
```

5. Orchestrator サービスを再起動します。

ワークフロー例

Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager の[Library（ライブラリ）]> [SRM]> [SRM Samples（SRM サンプル）] には、ワークフロー例が記載されており、Orchestrator を用いた Site Recovery Manager の自動化の方法を確認できます。

- 仮想マシンの作成、保護：

i. 仮想マシンを作成します。

ii. この仮想マシンを既存の保護グループに追加します。
- アレイベースの保護 (ABR) グループの作成、既存の仮想マシンの保護、リカバリ プランの追加：

i. ABR グループを作成します。

ii. 特定のデータストアに含まれる仮想マシンを保護するため、このデータストアを保護グループに追加します。

iii. 新しい保護グループを既存のリカバリ プランに追加します。
- VCAC ワークフロー向けのプロビジョニング後の SRM 構成

i. vCloud Automation Center でデータストア上の仮想マシンをプロビジョニングする際に、このデータストアが Site Recovery Manager の保護グループに含まれているかどうかを判断します。

ii. 含まれている場合は、この仮想マシンで保護を構成します。

iii. 保護グループがリカバリ プランに含まれているかどうかを判断します。

iv. 含まれている場合は、リカバリ プランに関連付けられたカスタム プロパティをすべて解析し、仮想マシンのリカバリ設定をカスタマイズするかどうかを判断します。
- VCAC 仮想マシン プロパティに基づいたリカバリ設定の指定

■ 仮想マシンの vCloud Automation Center プロパティに基づき、リカバリ サイトでリカバリされた仮想マシンを起動する際に使用するリカバリ設定をカスタマイズします。

既知の問題

VMware vCenter Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager 5.8.1 リリースには、既知の問題はありません。



企業情報

VMware について

エグゼクティブ マネジメント チーム

— 85 —

投資家向け情報

お客様事例

ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン

環境と社会への貢献、ガバナンス

VMware の AI

採用情報

ブログ

コミュニティ

買収により合併した企業

オフィス所在地

VMware Cloud Trust Center

COVID-19 関連リソース

サポート

VMware Customer Connect

サポート ポリシー

製品ドキュメント

互換性ガイド

利用条件

ハンズオン ラボと製品のご試用

 Twitter


 YouTube

 Facebook

 Instagram

 Blog

 VMware User Group

 お問い合わせ

[利用条件](#)

[プライバシー](#)

[アクセシビリティ](#)

[商標](#)

[用語集](#)

[ヘルプ](#)

[フィードバック](#)